

A(H1N1) 系統樹

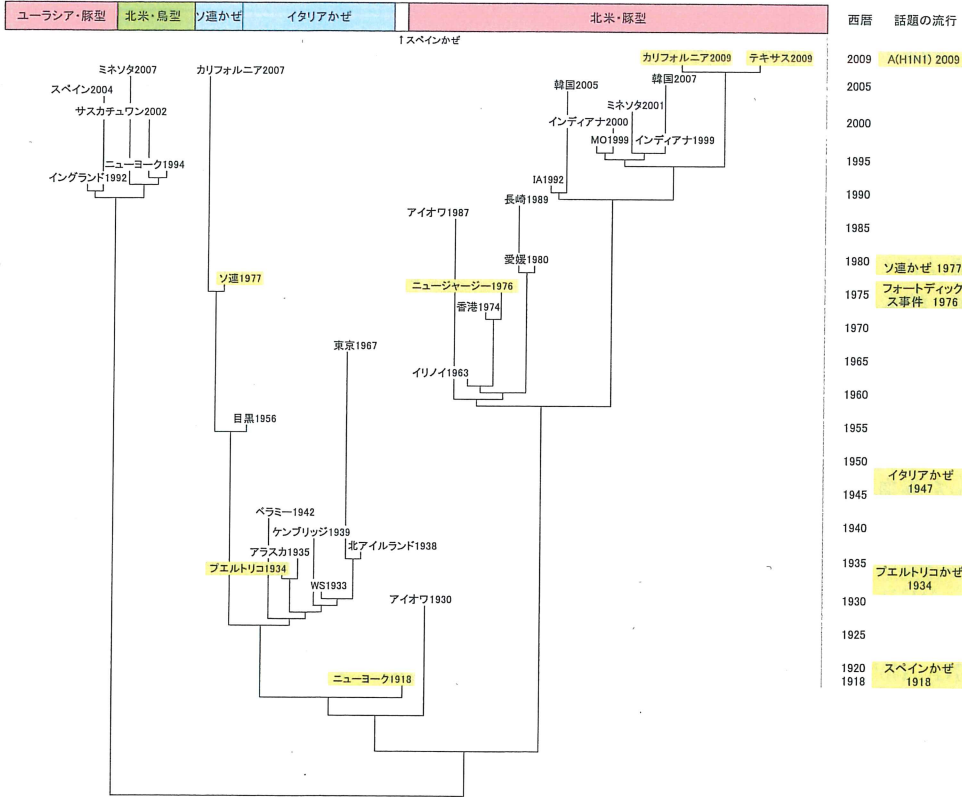


図1 A(H1N1) 系統樹 文献2の図を改変

伝染する能力を有することとなったウイルス」ではない(表2)。また、成人の3分の1はA(H1N1)2009インフルエンザに対する免疫を保有している。感染症法で規定する新型インフルエンザの定義を満たしていないので、A(H1N1)2009は新型インフルエンザではない。筆者は2009年5月に発刊された本誌特集論文で、A(H1N1)2009インフルエンザは新型登場ではなく、季節性インフルエンザであると明言した⁴⁾。鳥の世界に住んでいて天から降ってきたわけではなく、豚小屋で三十余年過ごしていた普通の人が如何にして新型と呼ばれる仮想の羽毛の衣装を誰かにまとわされて、颯爽と登場し、はだかの王様を演じつつ2009年世界を駆け抜けることになったのか。かくて飛ぶ鳥は後を濁した。

SOMEBODY LOVES ME
I WONDER WHO

2. インフルエンザウイルスの分類

インフルエンザは病名であり、1つの Disease entity として確立している。インフルエンザウイルスは型、亜型に分類される。

a. インフルエンザウイルスの型

ヌクレオカプシドを構成するウイルス蛋白はウイルスに感染した細胞の中で大量に合成される。このウイルス蛋白はS抗原(soluble antigenの頭文字)と呼ばれている。S抗原とS抗体の血清反応(中和反応および補体結合反応)によってインフルエンザウイルスはA型とB型に分類される。A型は1940年以前に分離されたウイルスであり、B型は1940年のニューヨークの流行の際に分離されたウイルスである。S抗体はインフルエンザウイルスの感染の経過には影響しないとみなされている⁵⁾。

b. A型インフルエンザの亜型